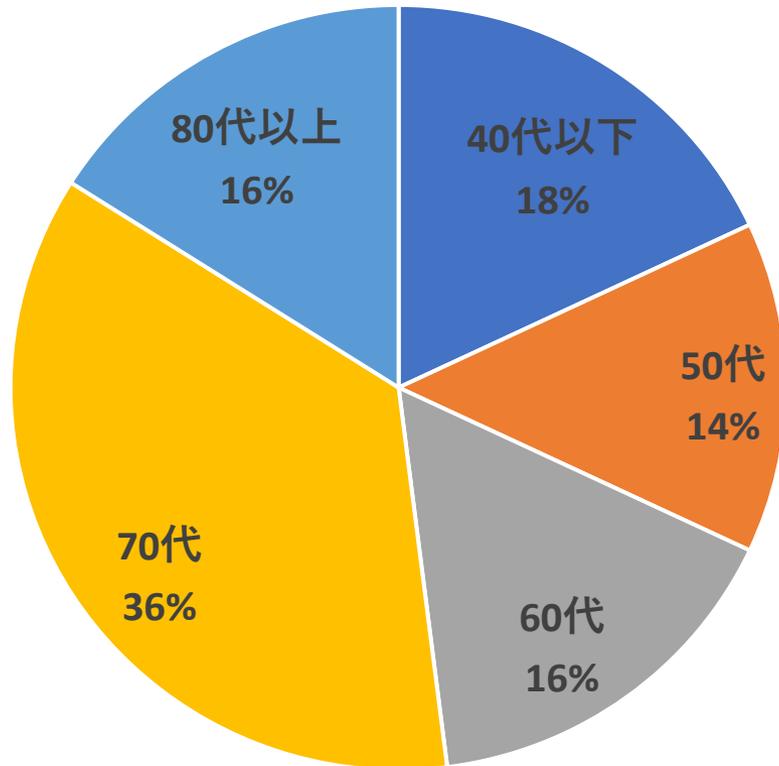


認知症講演会 当事者に聞く⑤

2025年9月18日

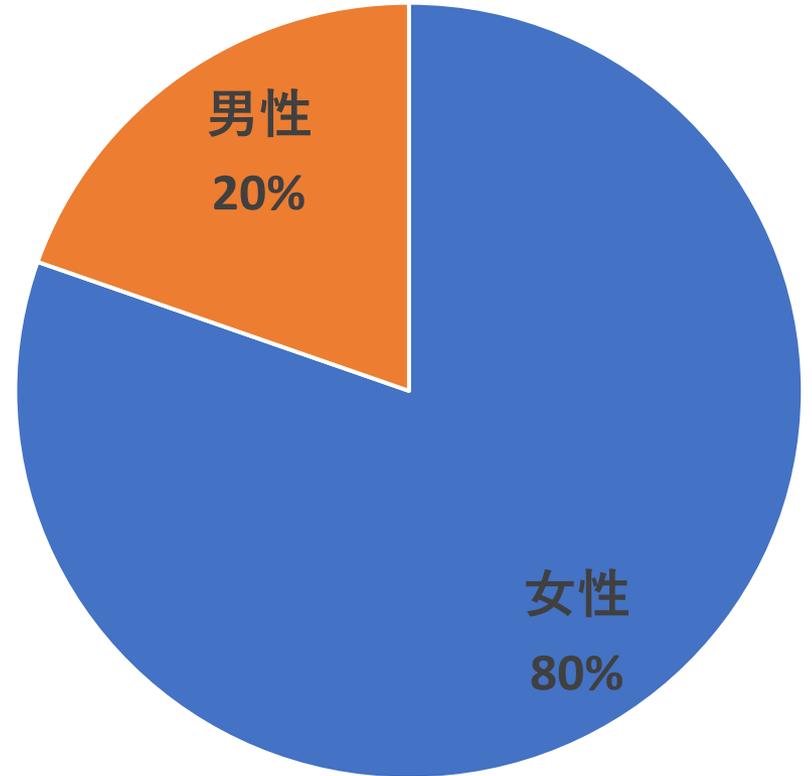
昭島スペース4F

年齡



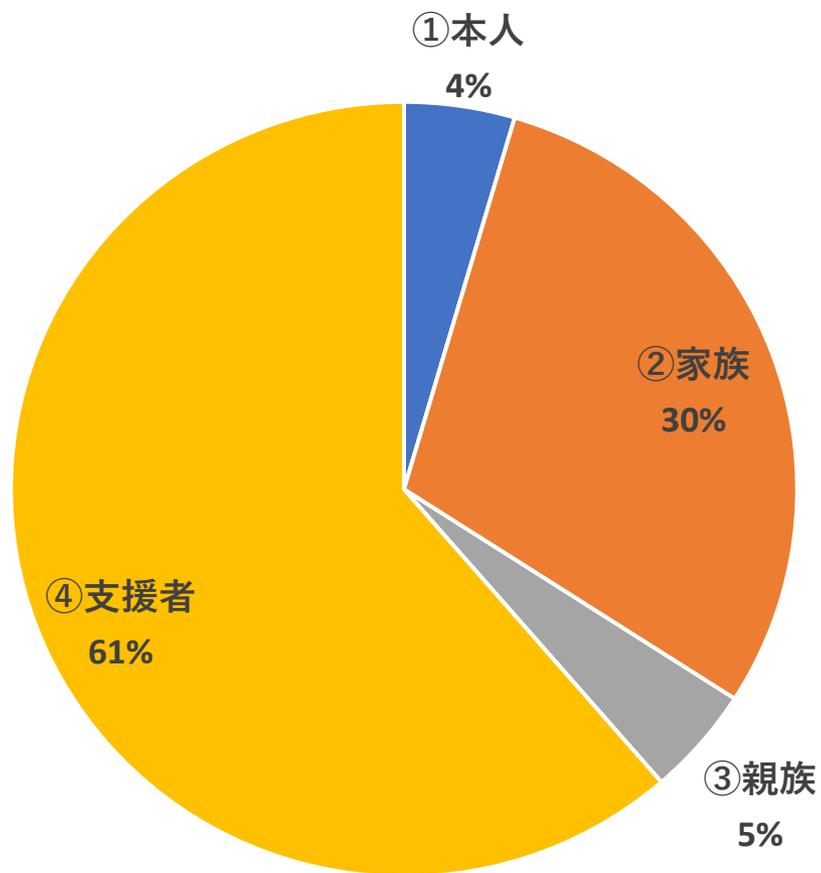
■ 40代以下 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上

性別



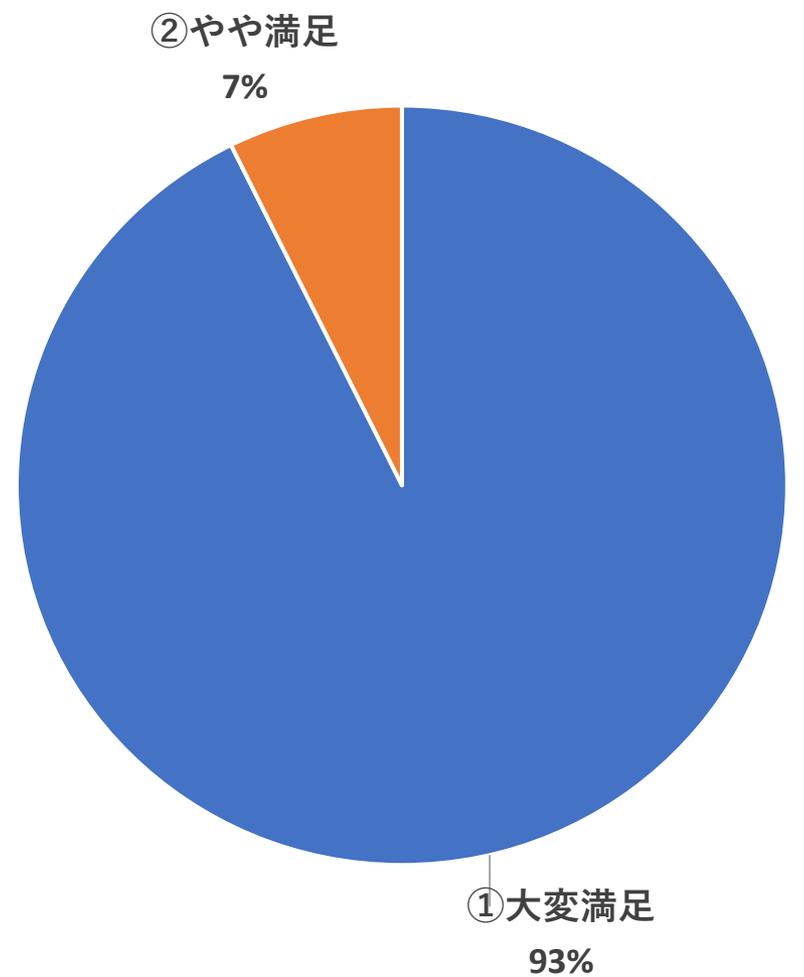
■ 女性 ■ 男性

認知症の方との関係性



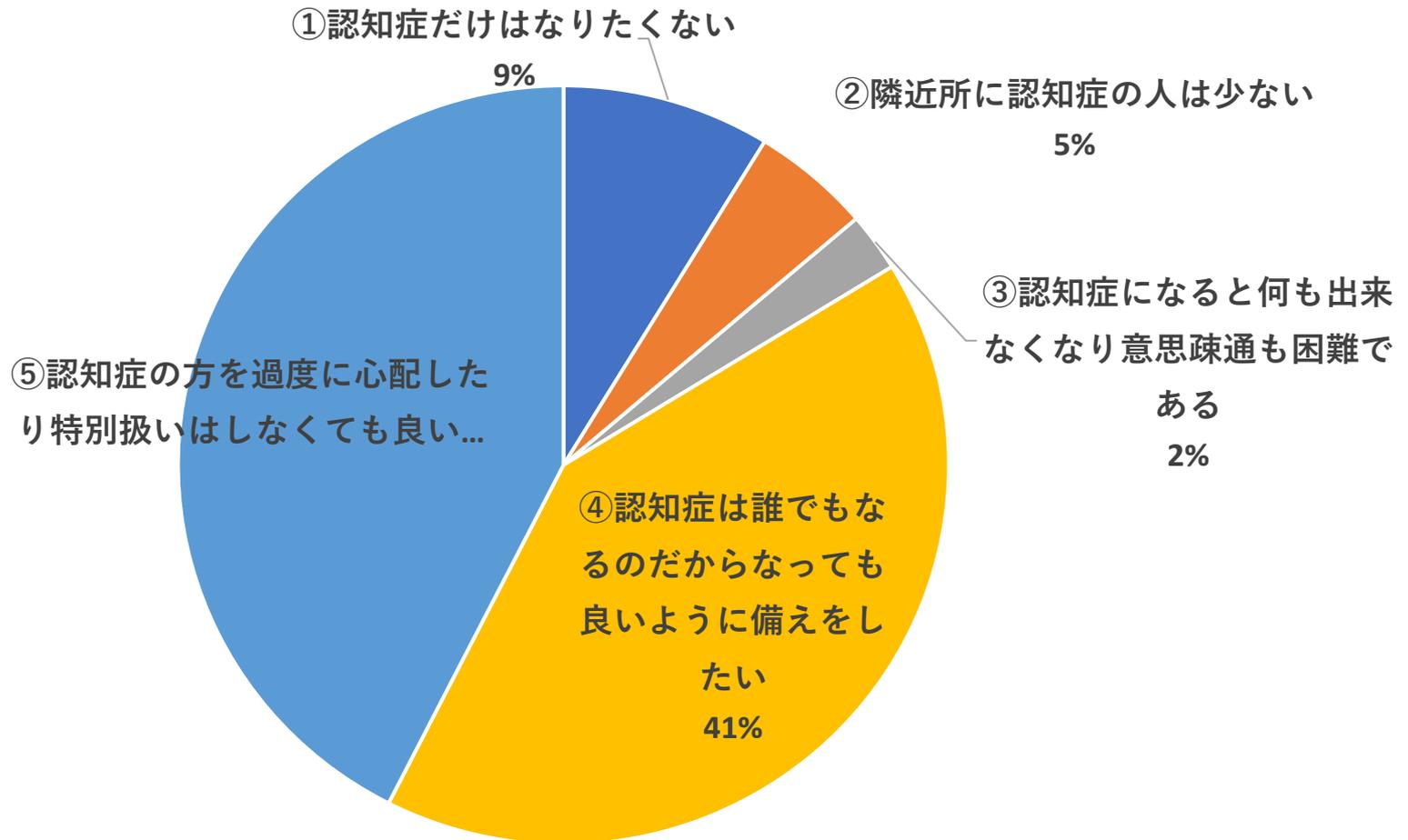
■ ①本人 ■ ②家族 ■ ③親族 ■ ④支援者

講演会の満足度



■ ①大変満足 ■ ②やや満足 ■ ③普通 ■ ④やや満足出来ず ■ ⑤不満足

認知症の捉え方



- ①認知症だけはなりたくない
- ②隣近所に認知症の人は少ない
- ③認知症になると何も出来なくなり意思疎通も困難である
- ④認知症は誰でもなるのだからなっても良いように備えをしたい
- ⑤認知症の方を過度に心配したり特別扱いはしなくても良い

日本の「認知症」を変えて来た丹野さん竹内さん間瀬さんという最強トリオに今年も力を頂いて1年間頑張れそうです。高月病院、クリニックというこれまたすごい疾患センターに今年は昭島リウマチ膠原病内科が加わり昭島がますます盛り上がり認知症が有っても無くても普通に暮らし続けられる市になって行く事を応援しています

壇上の講演では無かったのでフランクに話を聞く事が出来ました。認知症になれる昭島市、そう考えると素敵な市になりそうですね

良い学びの機会になりました。名刺を家族に渡す、しちゃいました。話を聞いて納得しました。気を付けます

支援者に、当事者の話を聞いて欲しいと言う意見を聞いて良かったです

生活の工夫についてITや携帯を活用する事や日頃の備えが大切である事は誰もが意識すべき事。今を大切に生きる、大事な話を聞かせて頂きました。家族だけで支えない、仲間と知り合う事の大切さや、本人が出来る事を奪わない、本人と共に何が出来るかという視点を持って関わりたいと思います

認知症の方が「大丈夫？」と声を掛けられたくないと言う事の意味が分かりやすかった。楽しい事は「楽しいですね」と共感していける様声かけをして行きたいなと感じました

有難う御座いました

どこまでが本人の特徴（性格）でどこからが認知症の症状かわからない。夫が認知症を職場に告知する事に同意せず仕事の調整が進まなくて困っている所でしたが、対談で質問させて頂き糸口のヒントを少し頂きました。市外から参加させて頂き有難う御座いました

次回も参加したい

とても良いお話でした

現在またはこれから認知症になった場合まわりの人達に遠慮しないで聞いても良いのかなあと思うようになりました

今日の講演は歌でありで大変楽しい為になるお話が聞いて良かったです

5年連続は凄いです。認知症に対する誤解、偏見がどうすればなくなるか。。。

出来る事を、うばうの事ない昭島を、笑顔で語り合える場を作りたいです。当事者のお話が伺えて良かったです。昭島の当事者の声が聞こえる場を作りましょう

とても参考になる話をたくさん聞かせて頂き有難う御座いました、この輪がもっと大きくなる事を願っています

色々話を聞いて良かったです

認知症は病気では無い。普通に接する事の大切さを教えて頂いた。お互い人間同士尊敬しあって生きて行かなければと思う。目下の人、出来ない人、よくわからない人という目線で見ない事が大切と思いました。話し相手、相談相手が必要。

心にひびくお話を有難う御座いました、人と話をする事の大切さ！深く感じました。

認知症になるかもしれないから、備えをする事が大事と知りました。不安はやわらぎました。

近所に住む同年代の友人が認知症になり、ご家族の接し方がとても冷たく感じられ、悲しく思っていました。認知症に関するパンフレットをお渡ししたりしたのですがこの様な講演を是非聞いて頂きたいと思いました

当事者、本人を中心に！！ 意識していても出来ない事あります

今回が5回目と知り早く情報を得たかったと思います。当事者の方で発信力のある方達の力は素晴らしいと思います

はじめて丹野さんのお話を聞かせて頂きましたが、とても楽しく参考になることも多かったです、ありがとうございました。

良いお話を有難う御座います！！父96歳、母99歳で見送りました。今日の話をもっと早く聴きたかったです。「失敗は大事」と知っていたけど理解出来ました

オープンなマインド！！ シャベリ場大事！ 失敗を恐れて手をかけすぎない。サポーターではなく、パートナーになる

丹野さんのお話は元気がもらえるし、当事者の必要な支援は当事者本人との対話があって知る事である事を認識させてもらっています。また次回も楽しみです、ありがとうございました。

皆様の様々なお話をお伺いでき あっという間の講演会でした。ありがとうございました。

良かったです、来年もよろしくお願ひします。

お話を聞いてこわくなくなりました。歌など歌えて楽しい時間でした

丹野さん竹内さんのお二人のお話とても参考になりました。本当に今日は良かったです。有難う御座いました

丹野さんと竹内さんのお話を初めてお聴きしました。実際にお話を聴く事が出来て良かったです。当事者の方に工夫が必要なことがわかりました。

いろんな気づきがあった、具体的にどうして行くか考えたい

とても参考になりました、当事者の生の言葉が心に刺さりました。自分の利用者（家族も）心の支えに役立ってます

当事者の生の声が聞けて、ハッとさせられました

主人（76歳）が認知症ですが家事の洗濯物を干す、取り込む、たたむ、を仕事としてやっています。（大変感謝しています）車の免許は取り上げられたと言っています。（頭の中に地図がありません）でももっと他に出来る事があるのでは？と思いはじめました、まだまだ楽しく生きていきたいです

数年前に丹野さんの講演会（東経大）を聞かせて頂きました。当時包括で仕事をする上でとても勉強になった事もあり、改めてお話をうかがいたいと思い参加させて頂きました。親も認知症になり、本日一緒に参加しました。忘れてしまう事は自覚していても自分が認知症になっている自覚はありません。これからも楽しく過ごしてもらえよう親とも住民の方ともパートナーとして生きていけたらと思っています。ありがとうございました。

すごくよかった

失敗は成功体験の途中であり失敗する権利を奪って欲しくない、悩むことで記憶に残る、という言葉は心に残りました。困っていたら手伝ってあげたいという気持ちが時として本人のやる気をなくす事に気づいていながらつい手伝ってしまいがち、サポーター、パートナーの立場のあり方を振り返る機会になった。当事者の座談会、丹野さんの司会ぶりが当事者と同じ目線で自然で良かった。大変有意義な会でした、有難う御座いました

先回りしてうばってしまっていたと気づかされました。「失敗する権利を取らないで欲しい」目からウロコでした自分に置き換えれば当然の事なのにはずかしいです

優しさという包囲網を作り本人の「自分を」失わせてしまう支援をしていた。パートナーになりたいと思った

丹野さんのお話の中に新しい話題があり日々新しい物を学んでいるのだなと気づきました。認知症関係なくなかなかこの年になると難しい。。。さすがは営業マン見習うべきところが多いです